

第50回記念

川口チャペルコンサート

あふれる感謝を主に捧ぐ



2023 9.16 【土】 14:00 開演

日本聖公会 川口基督教会

2008年9月、第1回「川口チャペルコンサート」が開かれました。音楽を通して、主の愛と希望をお届けできればと願ってはじめてのコンサートです。

こうして50回を迎えられますこと、心から感謝しています。

今回の川口チャペルコンサートは、「あふれる感謝を主に捧ぐ」と題して、第50回記念としてお送りします。聖堂に響き渡るパイプオルガンと歌をお楽しみ下さい。このひととき、皆様一人一人の心が、大きな神さまの愛で豊かに満たされますようにお祈りしております。

内海 由美子 辻 彩乃

Program

- J.クラーク J.Clarke : トランペット ヴォランタリー Trumpet Voluntary
S.ヴァン S.Vann : ロンドンデリーの歌 Londonderry Air
A.ギルマン A.Guilmant : 神のなしたもうことはすべて良し Op.93
Chorals et Noels "Was Gott thut, das ist wohlgethan"
J.S.バッハ J.S.Bach : バビロンの流れのほとりに BWV 653
An Wasserflüssen Babylon BWV 653
: 前奏曲とフーガ 口短調 BWV 544
Präludium und Fuge h-moll BWV 544



- 聖歌489番 心を尽くして Hymn 489 Kokoro o tsukushite
355番 ベツレヘムの村 Hymn 355 In a byre near Bethlehem
487番 重荷背負う人に Hymn 487 Omoni seou hito ni
532番 エルサレムの町の Hymn 532 Erusaremu no machi no

第50回記念 トークコーナー : 内海由美子 & 辻 彩乃

- J.ビゼー G.Bizet : 歌劇「カルメン」より “ハバネラ～恋は野の鳥”
"L'amour est un oiseau rebelle" from Opera "Carmen"
野中宏樹 Hiroki Nonaka : たとえばわたしが ～「あしあと」の詩と共に
"Tatoeba watashi ga" with the poem of "Footprints"
若林栄子 Eiko Wakabayashi : 小さな祈り A Little Prayer
: み心のままに Mikokoro no mamani
R.ラヴランド R.Lovland : You raise me up

Profile

内海 由美子 *Yumiko Utsumi* Mezzo Soprano



大阪教育大学特設音楽課程声乐専攻卒業。同大学院修了。2年間ウィーンに留学し、研鑽を積む。同地にてジョイントリサイタルを開催。帰国後、ジョイントリサイタル、ソロリサイタル他、オペラ、オラトリオのソリストとして多数出演。2008年から「川口チャペルコンサート」を始め、クリスチャン・シンガーとして教会でのコンサートを中心に活動。

2012年2月、日本聖公会聖歌集CDアルバム「朝は訪れる」、2019年9月「時を超え」を辻彩乃氏と共にリリース。

日本賛美歌学会、日本音楽教育学会、各会員。桃山学院教育大学、大阪教育大学非常勤講師。プール学院高校コーラス部、桃山学院教育大学聖歌隊指導者、日本聖公会大阪教区聖歌隊、川口基督教会聖歌隊リーダー。

辻 彩乃 *Ayano Tsuji* Organ



大阪教育大学特設音楽課程ピアノ科卒業。同大学院修了。相愛大学音楽学部オルガン専攻卒業。同専攻科修了。ジョイントリサイタル他、多くの演奏会に出演。テレマン室内管弦楽団とピアノ協奏曲を共演。一方、オルガンではソロでの演奏活動以外に、合唱団の伴奏、金管アンサンブル、フルートオーケストラなどと共演。また、FM 京都三条ラジオカフェにて、聖歌・賛美歌の番組パーソナリティーをつとめている。日本オルガニスト協会、日本賛美歌学会各会員。

同志社高校非常勤オルガニスト、ウィリアムス神学館教員、日本聖公会 川口基督教会オルガニスト。



出会いは、大学1年生の時。
クリスチャンとして、音楽家として、
共に歩むことができる恵みに
感謝しています。

「ハレルヤ。新しい歌を主に向かって歌え。」（詩編149:1）

川口チャペルコンサートの軌跡

2008年

第1回 9月27日 入場者数 70人

企画当初は「声楽中心」と「オルガン中心」のコンサートを交互に行う予定でした。

第1回は、演奏時間も30分と短く、聖歌7曲のみのコンサートでした。

第2回 12月13日 クリスマス曲を集めて (59人)

第2回から、オルガンと声楽の比率が半々となりました。



2009年

第3回 2月28日 十字架をみつめて (45人)

タイトルは、毎回二人で知恵を出し合って、決めています。

第4回 4月25日 希望 Our Hope (20人)

第4回から、前半はオルガン独奏、後半は声楽という現在の形となりました。

第5回 6月27日 聖霊は私たちのうちに (50人)

第6回 9月26日 あふれる感謝を音にのせて (39人)

第7回 12月5日 クリスマスの輝き～ベツレヘムの馬小屋にみ子は生まれた (45人)

2010年

第8回 2月27日 主は、わたしたちのために (38人)

第9回 4月17日 喜びの日 (29人)

第10回 6月13日 140周年記念 光に照らされて歩むわたしたち (60人)

第11回 12月18日 クリスマスは静けさの中で～われらに來たりし聖なるみ子 (49人)

2011年

第12回 3月26日 十字架の愛 (40人)

第13回 6月18日 わたしは、あなたと共にいる (34人)

第14回 9月10日 み言葉の調べ (38人)

第15回 12月10日 星は輝く希望の光 (45人)

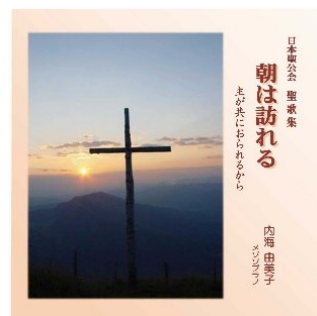


2012年

2月22日 日本聖公会聖歌集 CD アルバム 「朝は訪れる」をリリース

川ロチャペルコンサートから生まれた1枚目の
聖歌集 CD アルバムです。

「朝は訪れる」というタイトルは、聖歌第2番の
「長い夜にも朝は訪れる」という歌詞から名付けました。



第16回 4月28日 こんな美しい朝に (50人)

第17回 7月14日 主と共に歩いて下さる (71人)

第18回 9月8日 帰ろう 主のもとに (65人)

第19回 12月1日 クリスマスキャロルに祈りを込めて (70人)

2013年

第20回 3月2日 わたしたちを救うために (43人)

第21回 6月22日 賛美の花束 (70人)

第22回 9月21日 Abide with me 主よ ともに宿りませ (75人)

第23回 12月14日 クリスマス 小さな光がこの世に生まれた (74人)

2014年

第24回 3月22日 神は愛なり (70人)

第25回 6月21日

聖霊よ 激しく吹く風のように (68人)

第26回 9月6日 神さまの愛を感じて (55人)

第27回 12月13日 クリスマス 神さまからの贈り物 (100人)



2014年9月6日 第26回

2015年

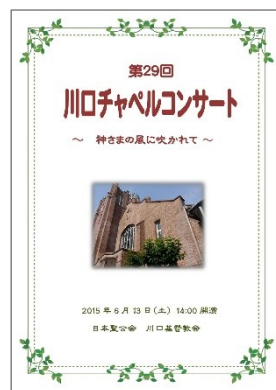
第28回 3月28日 十字架の愛に結ばれて (61人)

第29回 6月13日 神さまの風に吹かれて (73人)

教会の印刷機が新しくなり、第29回からチラシと
プログラムがカラー印刷になりました。

第30回 9月23日 145周年記念 たたえよ 主を (120人)

第31回 12月19日 愛と希望のクリスマス (104人)



2016年

- 第32回 3月12日 十字架はキリストの愛のしるし (69人)
第33回 6月25日 慰めの主とともに (70人)
第34回 9月22日 愛されている (75人)
第35回 12月3日 マリアに抱かれ眠るみ子は (50人)

2017年

- 第36回 3月4日 十字架の愛、そして希望 (60人)
第37回 6月17日 聖なる風を感じて (45人)
第38回 9月23日 楽の音に感謝をこめて (90人)
第39回 12月9日 喜びのクリスマス (102人)



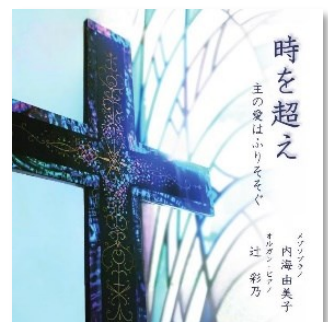
2017年6月17日 第37回

2018年

- 第40回 3月3日 十字架を仰ぎつつ (60人)
第41回 6月16日 永遠なる故郷 (90人)
第42回 9月17日 暗闇行くとときには (70人)
第43回 12月8日 クリスマス 神の愛は満ちて (105人)

2019年

- 第44回 3月30日 主よ 人の望みの喜びよ (82人)
第45回 7月6日 いのち輝く (61人)



9月27日 日本聖公会聖歌集 CD アルバム Vol.2 「時を超え」をリリース

川口チャペルコンサートから生まれた2枚目の聖歌集CDアルバムです。
「時を超え」は、聖歌第555番の歌詞から名付けました。

第46回 9月23日 時を超え 主の愛はふりそそぐ (81人)



第47回 12月14日 聖なる調べ Ave Maria (131人)

コロナ禍のため、このコンサートを最後に休止となりました。



2020年

第48回 3月7日 祈り コロナ禍のため中止

第48回 12月5日 クリスマス～輝く希望の光 コロナ禍のため中止

2022年

第48回 6月25日 主の光に照らされて (68人)

2回の中止を経て、2年半ぶりの開催となりました。申込み制で行いました。



左から オルガンアシスタントの辻詩乃さん、
辻彩乃さん、内海由美子さん、川口基督教会牧師
柳時京司祭

第49回 11月26日 久しく待ちにし コロナ禍のため、中止

2023年

第49回 4月23日 今日もまた新しく (60人)

のべ入場者数 3,199人 入場者平均 65.3人/回

今日お越しくくださった皆様、今までのコンサートを支えてくださった皆様、友人、家族、
そして主に、心からの感謝を捧げます。 内海由美子 辻彩乃

KAWAGUCHI
Christ Church
Cathedral
since
1870

